

# 異常新生児収容施設の現況

## 公立大学病院の場合

名古屋市立大学医学部小児科  
小川 雄之亮

名古屋市立大学病院に於ける異常新生児収容施設の現況

### 1. 施設の名称

未熟児病棟及び小児病棟新生児病室

未熟児病棟は極小未熟児及びintensive careを要する全ての新生児を収容(含低体重の外科疾患児)・実働18床(内NICU4床)小児病棟新生児病室は感染症の成熟児及び生後7日以降に入院の成熟病児を収容, 定床6床。

### 2. 専有面積(図参照)

未熟児病棟172.58㎡,

小児病棟新生児室30.13㎡

### 3. 要員

未熟児病棟(定床23, 実働18に対して, 全て専任)

医師11名(内助手3名), 看護婦18名(内婦長1名), 看護助手1名,

小児病棟(定床44に対して, 全て専任なれど新生児病室専任はなし), 小児内科28床(4床新生児)。

医師14名(内助手4名), 看護婦24名(内婦長, 主任各1名), 看護助手1名。

### 4. 主要機器

未熟児病棟

保育器: アイソレット4台, アトムV-80 2台, アトムV-75 4台, アトムV-55 2台, アトムラジアント・ヒートベット1台。

モニター: 日本光電: 2台, 三栄: 1台, トーイツ 1台, アトムV-800: 1台, ヒューレット・パッカード8801: 1台。

経皮酸素分圧測定装置: ロシュ5301: 1台, ロシュ630: 1台, 住友P0200: 1台

人工呼吸器: セクリスト200: 2台, ベビーバード: 1台, BP-200: 1台,

MVP-10: 1台。

ポータブルX線: 日立ポータブル1台

搬送用保育器: アイソレット(double wall) 1台

小児病棟新生児室

保育器: アトムV-80: 3台 アトムV-55: 3台

モニター: 日本光電: 2台 トーイツ: 1台

人工呼吸器: セクリスト200: 1台

共通機器: 血液ガスアナライザー(アストラップ ABL1): 1台

超音波断層装置(アロカMモード・5メガヘルツ): 1台

### 5. 入院患者統計

表1. 昭和53~55年3年間の院内出生, 院外出生別, 体重群別新生児入院数(日令7未満入院)

院外出生児多し(全体の81%)

極小未熟児多し(全入院の24%, 低体重児の41.3%)

表2. 昭和53~55年3年間の体重群別早期新生児死亡

出生体重の小さい程死亡率高し(多くはRDS+ICH), 成熟児は約3%(ほとんど重症仮死)

表3. 昭和53~55年3年間の体重群別新生児死亡(対象: 日令28未満入院例)

早期新生児死亡と同様のパターン, 成熟児は先天性心奇形や他の致死奇形の死亡が多い。

### 6. 昭和55年早期新生児死亡例死因

<1,000g: RDS 3

<1,500g: RDS 2

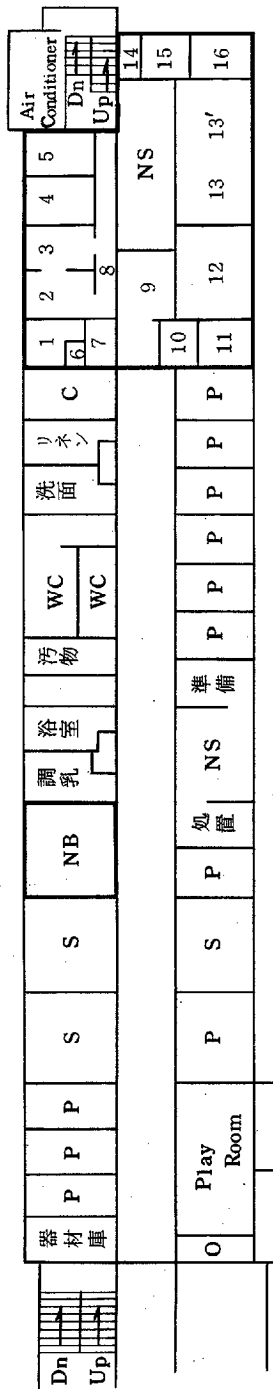
<2,000g: Sepsis 1 Cong Pneumonia 1

<2,500g: なし

≥2,500g: CHD 1

# 名古屋市立大学病院新生児収容施設

(縮尺 1/400)



## 小児病棟

NB. 新生児病室 (30.13 m<sup>2</sup>)

NS. ナース・ステーション

P. 小児内科病室

S. 小児外科系病室

C. カンファランスルーム

O. 観察室

## 未熟児病棟 (172.58 m<sup>2</sup>)

1. リネン室

2. キッチン

3. 調乳室

4. 隔離室 (9.18 m<sup>2</sup>)

5. 器材庫

6. W.C.

7. 更衣室

8. 清潔廊下

9. 不潔廊下

10. 授乳・指導室兼暗室 (6.25 m<sup>2</sup>)

11. 沐浴室 3.6 m<sup>2</sup>

12. コット室 (21.62 m<sup>2</sup>)

13. インキューベーター室 (34.5 m<sup>2</sup>)

13'. NICUセクション

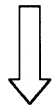
14. 資料庫

15. 作業室

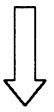
16. 検査室 (10.52 m<sup>2</sup>)

NS. ナース・ステーション

(2.8 m<sup>2</sup>)



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



名古屋市立大学病院に於ける異常新生児収容施設の現況